

第2回 横浜市境之谷公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和8年8月27日（木）13時20分～14時20分
開 催 場 所	西区役所4階A会議室
出 席 者	中西正彦委員長、大野千佳委員、西田千寿子委員、福永浩世委員
欠 席 者	関根信雄委員
開 催 形 態	一部公開（傍聴者無し） ※プレゼンテーション及び質疑は公開、採点以降は非公開
議 題	1 面接審査について
決 定 事 項	次の団体を指定候補者として選定した。 1 横浜市境之谷公園こどもログハウス 【指定候補者】一般社団法人西区区民利用施設協会 この結果を西区長に報告する。
議 事	《会議の公開・非公開について》 第1回選定委員会の際の決定事項に基づき、面接審査後の採点並びに指定候補者及び次点候補者の選定については非公開とすることを確認した。 《議題1：面接審査について》 公募状況、面接審査の進め方について事務局から説明があった。 応募者について、応募資格の欠格事項に該当していない旨及び財務状況については特に大きな問題は無い旨、事務局及び委員から報告があった。 最低基準については加減点項目を除く配点合計 100 点×委員数の6割であることを再確認。 <面接審査：境之谷公園こどもログハウス 応募者：一般社団法人西区区民利用施設協会> （応募者）プレゼンテーション。 [質疑] （委 員） 安全管理について、夜間の防犯業務は専門業者に委託するとあるが、具体的な対応内容を伺いたい。 （応募者） 閉館後は警備会社による機械警備を導入している。過去には夜間に設備の不具合が発生した際も警備会社が駆け付け対応した実績があり、安全確保に努めている。 （委 員） 館長の巡回頻度や関わり方について伺いたい。 （応募者） 館長は週1回程度巡回し、事務連絡や点検等を行っており、事故等の緊急時には駆け付けられる体制を取っている。過去には職員退職時等に常勤職員が応援勤務を行ったこともある。 （委 員） スタッフ育成や安全管理に関する研修体制について伺いたい。 （応募者） 新規採用時は一通りの業務についての研修を受けた後、ベテランスタッフ

と組んでOJTで仕事を覚えられるようにしている。また、業務については各種マニュアルや点検表を整備し、誰でも一定水準の業務が行える体制を設け、不明点は館長やスタッフ間で相談しながら業務を進められるようにしている。

(委員) スタッフの経験年数や入れ替わりの状況について伺いたい。

(応募者) スタッフは10名体制で、そのうち半数程度が経験豊富なスタッフである。家庭の事情等により退職することはあるが、長く勤務するスタッフも多い。

(委員) 利用者や保護者とのトラブル発生時の対応について伺いたい。

(応募者) 小学生については繰り返し丁寧にルールを説明している。未就学児については保護者へ必要に応じて声掛けを行っており、接遇研修やスタッフ間での情報共有を通じて対応している。現在、大きなトラブルは発生していない。

(委員) 最近の苦情や課題となった事例はあるか。

(応募者) 大きな苦情は発生していない。過去に施設内で落書きが確認されたことがあったが、その後の見守り強化により再発防止に取り組んでいる。

(委員) 利用者対応や安全管理を行う中で、広報や事務作業の時間をどのように確保しているか。

(応募者) 利用状況に応じて業務時間を工夫し、比較的落ち着いている時間帯を活用してホームページ更新等の事務作業を行っている。

【採点結果】

	団体名	得点
1	一般社団法人西区区民利用施設協会	337/400

【指定候補者及び次点候補者について】

審査の結果、「一般社団法人西区区民利用施設協会」を指定候補者として選定することと決定した。

[講評]

【指定候補者：一般社団法人西区区民利用施設協会】

利用者の安全確保を最優先とした施設運営が行われており、安全な遊び場としての環境維持に努めている点が評価された。また、防犯面を含めた日常的な安全管理についても適切に取り組んでおり、地域団体との連携や協力関係を生かした取組が行われている点についても評価する意見があった。

新たな利用者の掘り起こしに取り組みながら、こどもたちに親しまれる施設運営を継続してほしいとの意見があった。

限られた人員体制の中で施設運営が行われていることを踏まえ、今後も安全で安定した施設運営を維持するとともに、こどもたちが安心して利用できる施設として、地域に根差した運営が続けられることを期待する。